

# HOME/WORK VILLAGE ホーム/ワークヴィレッジに 出かけてみませんか？



「暮らし (HOME)」と「仕事 (WORK)」、そして社会の「宿題 (HOMEWORK)」を見つめ直す場所として、世田谷区立池尻中学校の跡地に「HOME/WORK VILLAGE」が、昨年夏グランドオープンしました。ここは、かつて校舎だった1階から3階にオフィス、飲食・衣類・雑貨などの店舗、教育・文化施設、屋上にはシェア農園、また、体育館にはスポーツスタジオなどもあり、多様な人々が集う新たな産業活性化拠点となっています。

取材日はあいにくの天候にも関わらず多くの方が訪れていました。中でもその日は体育館にて「せせせ日曜日」という世田谷区と出版社のマガジンハウスによる障害者施設の魅力発信プロジェクト「せせせ」のイベントが行われており、区内の福祉施設でつくられたパンやクッキー、アクセサリー等が販売されていました。

施設内では、大小様々なイベントが随時開催されています。

イベントの開催日や各店舗・施設についての情報は下記のホームページをご覧ください。

<https://homeworkvillage.com/>

暮らしと仕事、地域が交わるこの場所で、楽しみや発見をもたらしてくれるイベントが今後も開催される「HOME/WORK VILLAGE」。足を運ぶたびに、新しい出会いが待っているようです。



## 池尻児童館『お楽しみもちつき大会』

毎年恒例の、池尻児童館『お楽しみもちつき大会』が12月21日(日)に開催されました。

前日からの雨もやみ、予定通り池尻児童館前の池尻団地広場での開催となり、多くの来場者でにぎわいました。

この『もちつき大会』は、もち米を薪のかまどでぶがして臼と杵でつくという、昔ながらの手順で、おもちに仕上げます。

つきたてのおもちは、いそべ巻き、きな粉もちの2種類セットで来場者に販売(子どもは無料)

され、とても美味しいと大好評でした。また、会場では、子どももちつき体験も併せて行われ、こちらも大盛況でした。



## ★川柳を募集します★

パンダとは ただいだけで 暖かい  
おぶちん  
あま酒を 飲んで私も 右大臣  
ここにいるよ

応募方法=池尻まちづくりセンター1階の川柳BOXにご投函下さい。用紙は自由です。(ペンネームでも可)

●「わんぱち」は、池尻まちづくりセンターで配布しています。また、区のホームページには、「わんぱち」をはじめとして、地区の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



池尻まちづくりセンター 検索

## 行事予定 令和8年

- 毎月第1火曜日 お花広場の手入れ
- 3月28日(土) 春の歩こう会
- 4月9日(木)~12日 三宿・池尻まちなか作品展

## 広報部会員

池尻東親会	徳永 静	池尻団地自治会	野田 俊和
池尻南睦会	小野 克己	三宿自治会	小林 正典
池尻北自治会	山田 郁枝	三宿北町会	高久みどり
池尻4丁目町会	津村 和代		



# わんぱち

発行者 身近なまちづくり推進協議会広報部  
事務局 池尻まちづくりセンター  
TEL 03-3413-1843  
FAX 03-5486-7664

## 世田谷区立池尻小学校 創立70周年記念式典

池尻小学校は昭和30年に開校され、昨年で70周年を迎える事となりました。

11月22日(土)に開催された式典は、生徒全員が喜びの言葉を唱和し、来賓の皆様も感動を隠し得ない素晴らしいものでした。来賓方々の挨拶、紹介も終わり、祝賀会ではパ

トントワラーの演技、生徒さんとお母さんによるお囃子が行われました。次に副校長先生がバンドマスターとして登場し、職員の皆さんと3曲ほど演奏した後、校長先生によるバンドの曲に合わせたパフォーマンスが行われて楽しい盛り上がりのある祝賀会でした。



## 「たもんこどもまつり」6年ぶりに開催

11月9日(日)「たもんこどもまつり」が多間小学校で開催されました。

40年以上前から続いてきた伝統のこどもまつり、PTAの方々を中心となって毎年開催されていましたが、コロナ禍等で中止となっていました。

こどもと地域の関わりを強くしていきたいとの思いから三宿北町会長の声掛けに近隣の多くの団体の方々も賛同してくださり、6年ぶりの開催となりました。当日は、早朝より食べ物コーナーの仕込みや、工夫を凝らしたゲームコーナーが準備され、校内に多くの模擬店が並びました。

あいにくの天候にも関わらず、この日を待ちわびていた地域のこどもたちや保護者の方々が、1000人近く訪れ、各コーナーに長蛇の列ができました。その中には「美味しくてまた買いに来ました」との嬉しい声や、ゲームコーナーでは歓声上がるなど校内が笑顔あふれる賑やかな一日となりました。



開催を終えて実行委員長は、ご協力いただいた各団体への感謝と今後も皆様のご協力のもとに続けていきたいと熱く語られていました。



# 民話と古典落語で読む ばかし、ばかされたキツネの話

## 池尻の民話「キツネにばかされた話」

村の南に練兵場ができてから、あちこちの畑は練兵場にとられてしまつて、農家の人々は少なくなつた土地で、畑仕事を毎日です。その日も一日働いたあとで二人のお百姓さんは、申し合わせによつて、「少し飲んで、帰るべからう」といふことになりました。

二人はしばらく歩いて中里の方の酒場で一杯飲んだあと、近くの魚屋でサケを一本買つと、ほろよい気分が家へ帰つていきました。

すっかり遅くなつたので、近道の練兵場を横切つて歩いてみると、いつのまにかきれいな女の人が後にいました。そして、「ここにござらうついて来るのです。

でも、家についた時振り返つてみると、女の人はいつこのまにか見えなくなつていました。

「おーい、魚を買つてきたよ」

威勢よく声をかけて、お百姓さんが肩から魚をおろした時、魚は頭と骨だけしかありませんでした。

「やや、キツネにやられたか」気がついた時は、もう後の祭りでした。



## 古典落語「王子の狐」………(人間にばかされた狐の話)

遠い昔、江戸の片隅、王子稲荷のあたりは、狐が人を化かすことで有名でした。

ある日、一人の男が王子稲荷への参詣を終え、家路を急いでいました。その道中、男は不思議な光景を目にします。一匹の狐が、美しい娘へと姿を変える瞬間だったのです。周りには誰もいません。狐に化かされるくらいなら、こちらが化かしてやろうと、とつさに男は悪だくみを思いつきました。

男は狐に近づき、「お玉ちゃんじゃないか、久しぶり！」と親しい友人であるかのように声をかけます。狐も、人を化かそうと企んでいたところへ、まんまと獲物がかったとばかりに、「あら、熊さん、お久しぶりね！」と応じました。男は狐を、王子の名物料理屋「扇屋」へと誘います。二階の座敷に通された男は、狐が好きな油揚げではなく、ぜいたくにも天ぷらやお刺身、そして酒を注文しました。差しつ差されつ、酒を酌み交わすうちに、飲み慣れない狐は、すっかり酔いつぶれて寝てしまいます。男はそれを見計らい土産にと名物の卵焼きを包ませると、「勘定は連れが払うよ」と店を後にしました。

しばらくして、目を覚ました狐の元へ、勘定を催促する女中が来ます。男が帰ってしまったと知った狐は、驚きのあまり耳がピンと立ち、尻尾が



北区岸町の王子稲荷神社

生えてしまい、正体を現してしまいました。店の者は大騒ぎ、棒切れを持って狐を追い回します。必死に逃げ惑う狐は、最後の手段とばかりに「最後っ屁」をかまし、ほうほうの体で巣穴へと逃げ帰ったのでした。

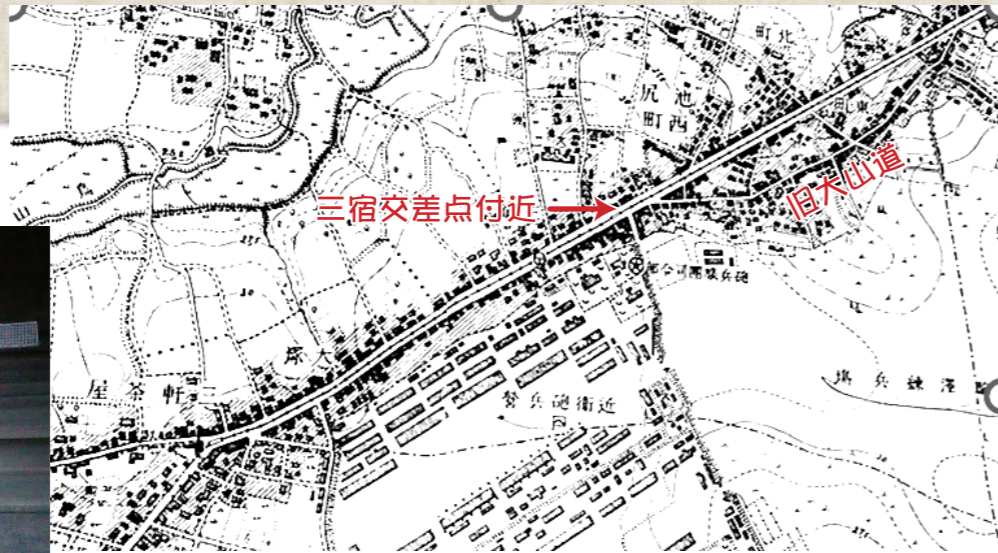
狐を化かした男は、手に入れた卵焼きを友人の元へ届け、得意げに事の顛末を話しました。しかし友人は、「狐は稲荷様のお使い。そんなことをすれば祟りがあるぞ」と、男を諭し、卵焼きを受け取ろうとしません。友人の言葉に怖くなった男は、翌日、謝罪の品を持って狐の巣穴へと向かいました。巣穴の近くで遊んでいた子狐に「昨日は悪かった。おつかさんに渡してくれ」と土産を託します。子狐が土産を母狐に渡すと、母狐は「やめときな！それはきつと馬の糞よ！」と疑いながらも中身を見ると、美味しそうな牡丹餅が入っていたのでした。



神社裏手の狐穴小堂



狐が糖んだ穴の入口



明治42年の池尻・三宿地区地図

### 狐のイメージ

- 1. 狐の霊的な存在**：日本では狐は稲荷神の使いとして信仰され、特別な霊力を持つ存在とされてきました。そのため、狐を霊的な力を象徴するものとして語られています。
- 2. 狐の文化的な象徴**：狐は知恵や狡猾さを象徴する動物として描かれることが多く、これが人間にばける能力として表現されることがあります。
- 3. 女性にばける狐**：中国の陰陽五行説では、狐は陰の気を帯びた動物とされ、陽の気を持つ男性に惹かれるという解釈があります。
- 4. 人間に騙される狐**：狐が人をばかそうとして逆に人間に騙される筋が「露休置土産(1707年)」で紹介されています。江戸時代前期から逆転の笑い話が存在していました。
- 5. 恩返しする狐**：狐が人間に助けられ、その恩返しとして人間に化けて助けるという話も多く見られます。これらの物語は、助け合いの精神や感謝の気持ちを象徴しています。

落語「王子の狐」は江戸時代後期に成立した古典落語。江戸時代末期に生まれた三遊亭圓右の初演が伝えられている。

「ばかし」と世田谷を語る／池尻  
世田谷区生活文化部文化・国際・男女共同参画課  
(平成20年編集・発行)

